

科 目 名				学年
経営財務論Ⅰ：Financial ManagementⅠ				4B
教 員 名 田川 晋也：TAGAWA Shinya				
単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
1	100分×15回	必修	講義・前期	○
授業概要 財務活動の意思決定は、資金の調達・運用・配分に大別される。本講義では、その意思決定のメカニズムについての基礎理論を解説する。財務論は、数式を用いることが多いので、前期は必要な数学の知識と経済学の基礎知識を確認する。				
到達目標		評価方法	配分	
1. 現在価値計算ができる。		中間試験	40%	
2. 経済性計算が理解できる		期末試験	40%	
3. 投資の基礎概念が理解できる。		レポート	20%	
学習・教育目標 (C)① JABEE基準1(1) (d)-(4)				
授 業 計 画	回	項 目	内 容	
	第1	ファイナンス数学①	級数、偏微分、全微分	
	第2	ファイナンス数学②	期待値、分散、標準偏差	
	第3	経済学の知識①	無差別曲線分析	
	第4	経済学の知識②	異時点間消費の分析	
	第5	ファイナンスの基礎①	複利計算と時間価値、将来価値と現在価値、配当割引モデル	
	第6	ファイナンスの基礎②	期待効用理論	
	第7	ファイナンスの基礎③	平均-分散アプローチ	
	第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する	
	第9	ファイナンスの基礎④	資本コスト、財務的意思決定の概要	
	第10	設備投資の意思決定①	回収期間法、投資利益率法	
	第11	設備投資の意思決定②	正味現在価値法	
	第12	設備投資の意思決定③	内部利益率法	
	第13	設備投資の意思決定④	リアルオプション法	
	第14	設備投資の意思決定⑤	EVAによる評価	
第15	まとめ	全体の学習のまとめを行う。また、授業評価アンケートを行う。		
自学自習の内容		教科書の章末問題を課題とする。		
関連科目		会計学原理Ⅰ、経済学Ⅰ		
教科書		コーポレート・ファイナンス入門(砂川伸幸・日本経済新聞社)		
参考書		ゼミナール経営財務入門(井手正介・高橋文郎・日本経済新聞社)		
授業評価・理解度		最終回到授業評価アンケートを行う		
副担当教員				
備考		必要に応じてプリント教材を配布する		